ルーアン、2020年6月22日

ルーアン大聖堂を24時間ライブ配信

ルーアン・ノルマンディー観光局は公式サイトにて、クロード・モネの目線で大聖堂の正面壁にかかる光と色彩の変化を24時間見られるライブ配信を行います。
www.rouentourisme.com.

モネの視点で見る大聖堂

ルーアン・ノルマンディー観光局が1959年から入っている建物は、大聖堂の正面に建てられた財務局跡で、当時のルーアンに最初にできたルネサンス建築でした。このロケーションを活かし、わが観光局では世界の旅行者に向けたある特別な体験を提供いたします。

その体験とは、巨匠クロード・モネが連作「ルーアン大聖堂」にかけた作業をなぞるというものです。モネは1892～1893年、大聖堂の前に陣取り、3つの異なる視点から一日の様々な時間帯に大聖堂を観察しながら約30点の絵を描きました。とくに財務局跡の2階からは大聖堂の西側正面壁を、一日の光の変化を色彩で表現しながら28点描き残しました。

ルーアン、印象派の首都

ノルマンディーは印象派の故郷とされ、セーヌ渓谷とルーアンは19世紀に現れた印象派にとって非常に重要な場所となりました。シスレー、ゴーギャン、ピサロ、モネなどの巨匠がこの土地に住み、景色やモニュメント、町並み、セーヌ川沿いを描き、傑作を生み出したのです。

モネの「大聖堂」連作や「ルーアンの眺め」、シャルル・フロションの「ラクロワ島」、ピサロの「ボワルデュー橋」など、多くの作品がルーアン市の歴史と結びついています。

INTERNATIONAL RELATIONS
Yannick Bugeon - 02 32 08 36 57
y.bugeon@rouentourisme.com - www.rouentourisme.com

ルーアン美術館はフランス国内で2番目の印象派コレクションとして、印象派の巨匠たちの貴重な傑作を揃えています。パリのオルセー美術館に次ぐ印象派コレクションです。

ルーアン美術館は、フランソワ・ドポー氏寄贈により、20世紀初旬に描かれた絵画美術の至宝を収蔵しています。「印象派-フランソワ・ドポー寄贈」の部屋には53点の作品が展示されています。

また、美術館では毎年印象派をテーマにした企画展を開催しています。2020年の印象派フェスティバルでは、メトロポール(ルーアン近郊)にある６つの美術館・博物館での企画展には1枚のチケットで入場できます。美術収集家フランソワ・ドポーの素晴らしいコレクションを始め、カラー写真の誕生や女性陶芸家をテーマにした企画展が開催されます。

ルーアンでは、後期印象派の時代に、ルーアン派と名付けられた絵画グループが誕生しました。この派から、ルブール、アングラン、パンション、ドラートルなどの有名な画家が誕生しました。セーヌ川は彼らのお気に入りの場所で、天候で変わる光、霧に包まれた風景などがキャンバスに表現されました。

ルーアン、ノートルダム大聖堂

ノートルダム大聖堂は、街の中心に聳え立ち、ロマネスク様式とゴシック様式の様々なバリエーションを見ることができます。12世紀以来、建築様式の進化にともない変化する装飾が刻み込まれ残っています。司教邸が大聖堂に沿って建てられ、大司教が最後まで住まわれた大司教邸だと言われています。大聖堂の尖塔は151mでフランス一の高さを誇ります。

クロード・モネは大聖堂を2年にもわたり描き続けましたが、大聖堂の中に入ったのは連作を描き上げる10日前だったと言います。連作の中の20点が1895年に、画商デュラン・リュエルのアトリエで展示されました。ドガやセザンヌ、ピサロ、ルノワールが絶賛しました。クロード・モネ、大聖堂連作は、フランス、そして世界中で発展していく印象派表現の広がりに非常に重要な役割を果たすのです。

INTERNATIONAL RELATIONS
Yannick Bugeon - 02 32 08 36 57
y.bugeon@rouentourisme.com - www.rouentourisme.com

オンラインで届く絶景

芸術史でも最も有名な潮流「印象派」の祖であるモネが賛美し、キャンバスの上に永遠の姿をとどめたフランスで最も高いルーアンの大聖堂。それがカメラを通して一年中24時間を通して誰もが見られるようになります。

ルーアン・ノルマンディー観光局の最上階に設置されたウェブカメラでは、世界的に有名な大聖堂正面壁を映すだけでなく、2020年7月4日～9月30日の期間、ルーアン・ノルマンディー・メトロポールが大聖堂正面壁上にて実施するプロジェクションマッピング「光の大聖堂」をお届けします。こちらは印象派をテーマにした「第一印象」と、ジャンヌ・ダルクをテーマにした「ジャンヌ」の二本立てです。

ウェブカム設置業者Skaping社とは？

Skaping社はグルノーブルに拠点を置く企業で、ジャン＝ピエール・コリエとクリストフ・ブノワが創業しました。スキー場、海浜リゾート、都市におけるインターネット接続カメラ（ウェブカムやライブカム）を基本にした観光プロモーションのツールを展開しています。同社のツールを活用したサイト流入は60%にも上ります。

INTERNATIONAL RELATIONS
Yannick Bugeon - 02 32 08 36 57
y.bugeon@rouentourisme.com - www.rouentourisme.com